

オリンピック130年の歩みと日本

真田 久

1. オリンピックへの参加
2. 東京開催へ
3. 東京2020大会



1

1. オリンピックへの参加

1-1. アテネ1896との関わり



- ギリシャの射撃委員会（委員長ニコラオス皇子）より日本政府へ依頼、大会での展示用に陸軍省は村田連発銃と擬製実包30発をイギリス経由で提供（1896.1）



ピレウスの夜祭り

2

2

1-2.セントルイス1904（人類学の日）

- セントルイス博覧会人類学部門のスタール（シカゴ大教授）の要請を受け、政府はアイヌの人たちを送ることに同意
- スタールは自ら北海道に来て人選して契約を交わし、セントルイスに連れて行く
- 4人が、オリンピックの人類学競技に参加
(この競技をIOCは公認せず)



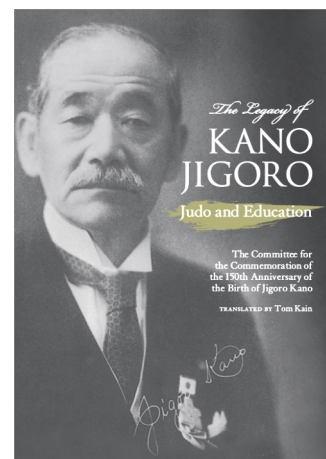
セントルイスでのアイヌの人々
(1904年)

3

3

1-3.オリンピック競技大会への参加

- 1908年 クーベルタン、駐日仏大使に日本人IOC委員推薦を依頼
- 1909.1.16 嘉納治五郎と会談
- 1909.5.27- IOCベルリン
総会にて就任
- 1911大日本体育協会設立



4

4

オリンピックに武士道精神を入れることを目指す

身体とともに智徳を練り、そこで得たものを自身の日常や社会生活の改善・発展に応用していく

精力善用

- ・ 目的を達するために精神の力と身体の力を最も有効に働かすこと
- ・ 精力善用する者同士が競い合うことで、共に成長する

自他共栄

- ・ 他者に誠実に尽くしてこそ、自己の完成も社会の発展もなされる

5

5

ストックホルム1912に初出場



三島弥彦 (東京帝大・短距離)
金栗四三 (東京高師・マラソン)

6

6

震災直後のパリ1924

国民の士気を高め、震災に負けていない姿を世界に示す



関東大震災（1923）直後の銀座



内藤：レスリング 3位
織田：三段跳 6位
高石：100m,1500m自由形 5位
斎藤：100m背泳6位
800mリレー日本：4位
(水泳、陸上で入賞)

7

7

オリンピックでの優勝

アムステルダム1928

三段跳（織田幹雄）金
200m平泳（鶴田義行）金
800m女子（人見絹枝）銀



織田幹雄



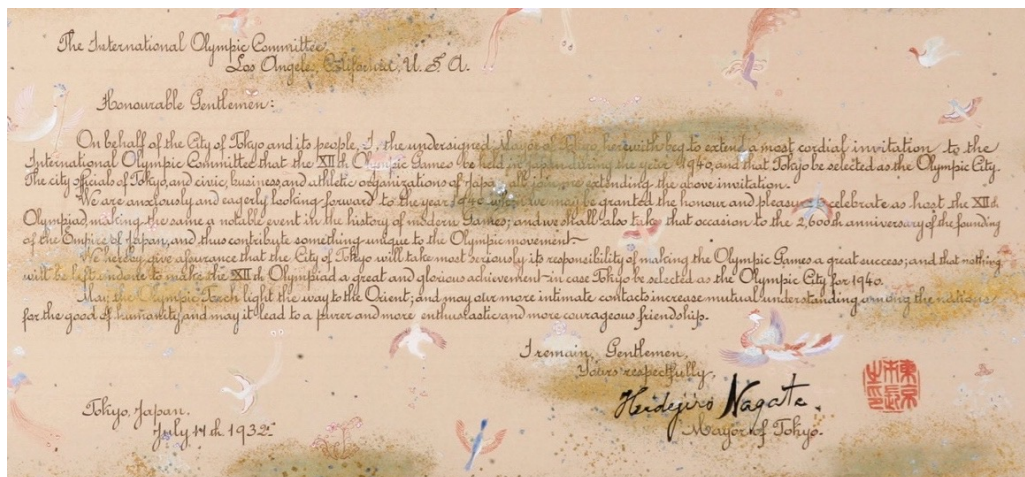
人見絹枝

8

8

2. 東京開催へ

2-1. 1940大会



永田東京市長の招請状（IOC所蔵）1932.7

9

私どもは、第12回オリンピック大会を開催する栄誉と喜びが与えられることを切望し、成功の暁には近代オリンピック史において注目し得る大会とする所存です。また、1940年は皇紀2600年にあたるので、**オリンピック・ムーブメントに比類のない貢献を果たす決意**です。

東京市は、オリンピック競技大会成功の責任を果たすべく真摯に取り組むことを確約します。1940年のオリンピック都市に東京が選ばれた時には、卓越した輝かしい成果が得られるよう、あらゆる面で最善を尽くします。

聖火が東洋への道を照らさんことを。そして我々の親密な関係が、人類のために国と国との相互理解をさらに深め、より純粋で、熱く、さらなる勇気に満ちた友情が育まれんことを祈りつつ。

日本国 東京
1932年7月9日

東京市長
永田 秀次郎

10

10

東京開催の理由（「TOKYO」1933より）

- **オリンピックムーブメントへの貢献**
（相互理解、スポーツの国際的普及、科学的知見）
- **大震災からの復興**
美しく耐久性の強い都市
（スポーツ公園、道路拡張、耐震構造の学校）
- **540万人（世界3位）**
交通、ホテル、水道、学校、映画館
寺社、庭園、滝、木々と調和的存在
- **競技施設は明治神宮外苑を中心に多数**
- **国民はスポーツ狂**

11

11

IOC委員への説得

日本は政治的孤立（1933 国際連盟脱退）
日本は遠い（欧州から2週間以上）

- ① オリンピックはその精神を全世界に普及させるために始められたのではないか
- ② 世界で最も多くの人口を有するアジアで行われるべきではないか
- ③ 日本は遠いというが、その遠い日本から大会毎に多数の選手を送っている。十数回に一度は日本に来てよいではないか



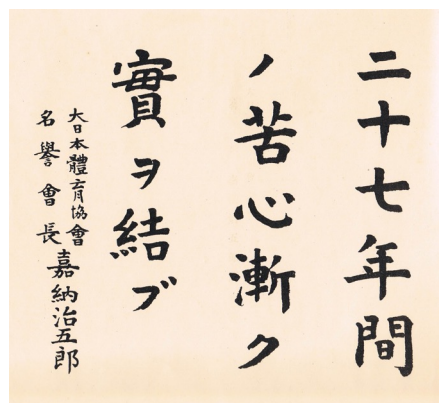
12

12

ベルリンIOC総会 1936.7

- 東京 36票
- ヘルシンキ 27票

「IOC委員に就任して27年間のオリンピック・ムーブメントが実を結んだ。今後は東京大会を世界の模範とするべく、またこれを機に**オリンピックを世界の文化に**せねばならない」（嘉納）



13

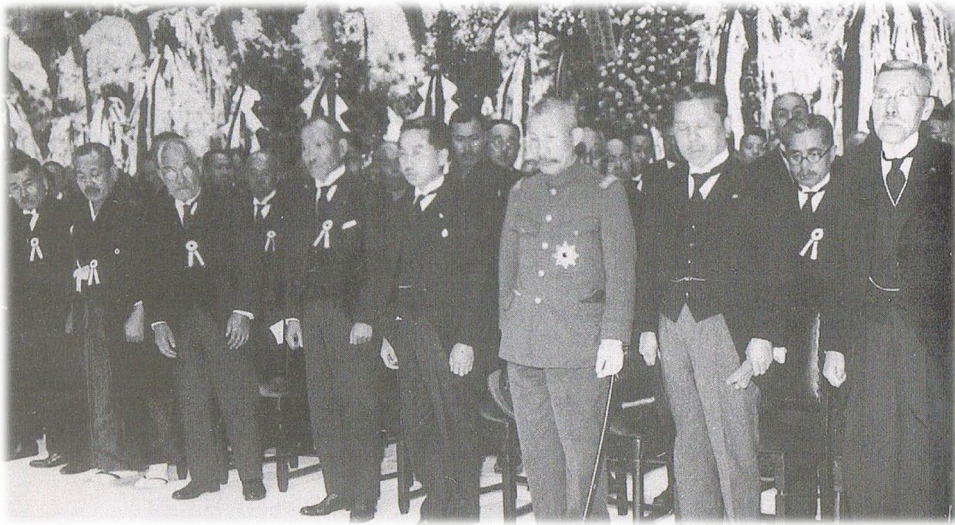
13



バンクーバーより氷川丸で 1938.4.23

14

14



嘉納の葬儀 1938.5.9 講道館

15

15

IOC委員の弔意

• ラツールIOC会長

「真の青年の教育者であった。

氏の思い出を永く座右の銘として忘れない。

東京オリンピックこそ、日本のスポーツを引き上げた氏の労苦に対する報酬であった」

• ピエトリ (FOC会長)

「日本国民は氏の真摯で勇敢な努力に深く感謝しなければならない」

• カール・ディーム (ベルリン大会事務総長)

「氏は世界で稀にみるスポーツ教育の総合的人格者」

• ブランデージ (USOC会長)

「立派な『サムライ』であり、典型的教育家」

• アバーデア卿 (BOC)

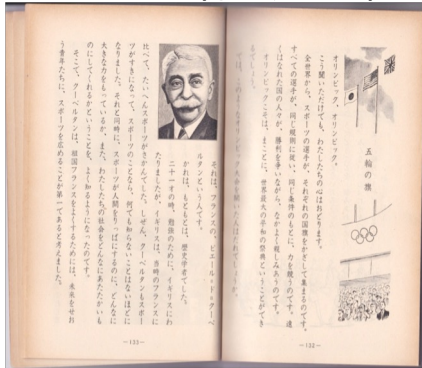
「氏の遺志に従い、日本におけるオリンピック競技会を支える事を最大の幸福と考える」

16

16

2-2.東京1964 1959 IOC ミュンヘン総会

- 元外交官 **平沢和重**が演説
嘉納の最期を看取った人物
(氷川丸にて)



小6 国語「五輪の旗」 (学校図書)

「日本では学校の授業で生徒が皆、オリンピックを学んでいる、開催の準備ができています」と演説

東京	: 34 票
デトロイト	: 10
ウィーン	: 9
ブリュッセル	: 5

「古いIOC委員たちが嘉納との思い出を語りかけて来たように、その功績は嘉納にあった、東京オリンピックはその基礎の上に積み上げられたのだ」

(1959)

17

17

オリンピックは世界の文化になった

- 1960 IJFによる申請
- IOC事務局長O.メイヤー、EJU副会長 E.ジョナス支援
- **柔道はスポーツ,オリンピックの真の国際化**
39対2票で承認

- ブランデー IOC会長
開会式 1964.10.10

「オリンピックムーブメントは全ての大陸に及んで世界の文化になった。」

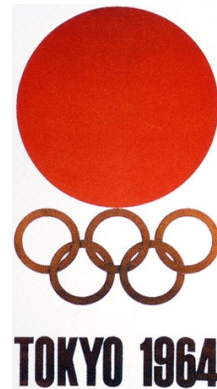


18

東京1964開催：アジア初

- 第18回オリンピック競技大会
- 1964.10.10-24 15日間
- 93カ国・地域（初参加18）
- 20競技163種目
- 選手数 5,152人

美と力
若い力

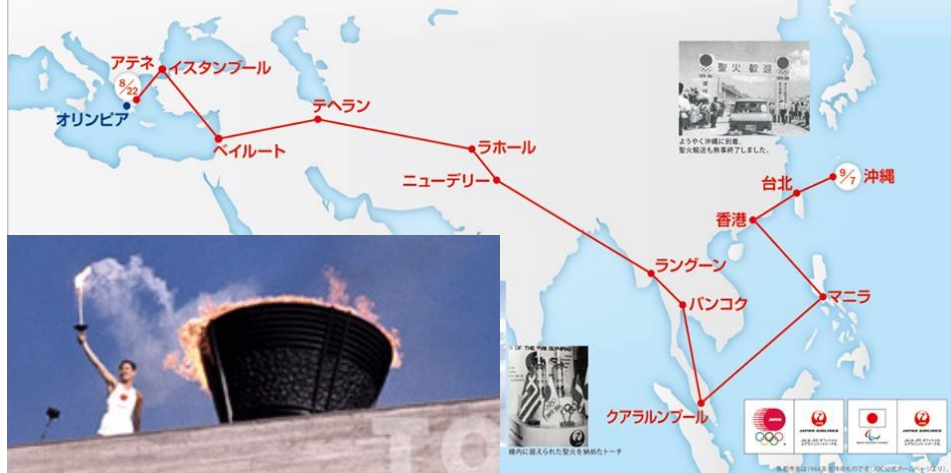


19

19

1964年 東京オリンピック 聖火空輸海外ルート

1964年8月22日に聖火を乗せてアテネ空港を離陸した「City of Tokyo」号は、約3週間かけて11の中継地を経て、沖縄に到着しました。



空輸総距離15508 km 地上870区間732km,13都市 走者総数 100700人

20

20

都市への影響（インフラ整備と西洋文化）



東海道新幹線開業

東京1964

- 都市インフラ（戦争からの復興）
モノレール（9.17）
東海道新幹線（10.1）
首都高,名神高速道
- 西洋式ホテル
オークラ、ヒルトン、
ニューオータニ、プリンス
- 洋食店

21

21

アフリカ諸国の初参加

- 東京オリンピックとザンビア
～日本に響き渡った「ザンビア、バンザイ」の声～
- こんなことはオリンピック史上初めてのことだ。メダルこそとれなかったが、オリンピック初参加、そして独立、こんなうれしいことはない。

（毎日新聞夕、1964.10.22）

- アベベ・ビキラ（1932-1973）
マラソンで優勝（連覇）
2時間12分20秒3
エチオピア
“走る哲人”



22

3.東京2020大会：危機を乗り越えた大会

基本コンセプト
 全員が自己ベスト
 多様性と調和
 次世代への継承



- 第32回オリンピック競技大会
- 2021.7.23-8.8 17日間
- 206チーム（難民選手団含む）
- 33競技339種目
- 1都1道7県 42会場
- 選手数 11,259人



23

オリンピック聖火リレーの実施状況



サバニによる海上の聖火リレー（5月2日 沖縄県 座間味村）



聖火を見守る奇跡の一本松（6月17日 岩手県陸前高田市）

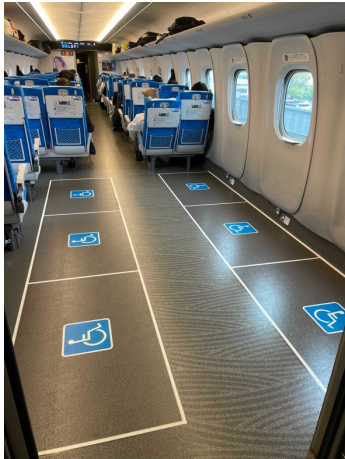


復興廃材アルミ
 水素燃料



24

都市インフラ（バリアフリー）



新幹線車椅子スペース



駅などのバリアフリー化
全国鉄道の91.8%（20.3末）

25

25

東京2020の国際協力・交流



国民結束の日（南スーダン）

「競うこと」を「つながる」ことに

- 国際協力・貢献 2014-
204カ国・1339万人（裨益者）
- ホストタウン 2016-
533自治体183カ国・地域と交流
- オリパラ教育 2014-
都は16年度より毎年35時間、
2300校100万人
全国でも毎年1000校

26

26

スポーツへの影響（レガシー）

東京2020

- 若者の関心の向上
 - アーバンスポーツ
 - パラスポーツへの関心
- 第3期スポーツ基本計画
(2022ー)
- スポーツをつくる/はぐくむ
学習指導要領にオリパラ明記
人の側からスポーツを再構築



27

27

新たな価値



Together（共に）
連帯することの重要性
二分法的思考から中庸を得た
考えで危機を乗り越える
共生社会を目指す（WeThe15）

より速く、より高く、より強く、共に（Together）

精力善用・自他共栄

28

28

まとめ：日本とオリンピック

1. 国内

ア.都市インフラ

都市そのもの（1964）から
生活・多様性・環境に配慮した
整備（2020）

イ.スポーツの普及と拡大

スポーツクラブ、スポーツのプロ
化（1964）
パラスポーツ、高齢者、アダプ
テッド・スポーツ（2020）

2.国際（ムーブメントへの貢献）

ア.アジアでの初開催により、アジアや
アフリカに広がり世界の文化に
（東京1964、札幌1972）

イ.連帯することの大切さ

JAICAなどの国際貢献、
スポーツ・フォー・トゥモロー

メダル獲得国数の拡大（2020）

- ・オリ：リオ 89 → 東京 93
- ・パラ：リオ 83 → 東京 86

29

29

参考文献

- ・日本オリンピック・アカデミー編著:2020+1 東京大会を考える。メディアパル, 2022
- ・日本スポーツ社会学会編集企画委員会編：2020 東京 オリンピック・パラリンピックを社会学する。創文企画, 2020
- ・真田久：嘉納治五郎 日本にオリンピックを呼んだ国際人。潮出版, 2019
- ・真田久監修：東洋のスポーツの中心地 東京。極東書店, 2018
(TOKYO Sports Center of the Orient. 1933)

30

30